

第 1 回高山市新火葬場建設検討委員会 議事録

日 時： 平成 28 年 8 月 2 日 火曜日 13 時 30 分から 16 時まで

場 所： 高山市民文化会館 3-11 講堂

出席者：

(新火葬場建設検討委員会委員) 39 名

竹内 治彦 秋山 孝正 豊田 洋一 片山 幸士 堀 泰則
瀬上 雅義 高木 淳 野尻 修二 岡村 康 鴻巣 智 阪本 太
清水 裕登 大野 二郎 野中 憲治 山越 祐介 白尾 匡
水野 千恵子 和仁 紀男 釜屋 隆司 日野 貢 小峠 賢次
森下 美由貴 中田 幸男 田中 晶洋 大下 正幸 塩屋 正道
野中 隆平 狭場 芳男 岩茸 伸一 杉本 健三 松葉 慶一
上坪 道利 林 順一 長谷川 昭久 野畑 和久 今井 久和子
谷口 大悟 小坂井 唯夫 岡山 紘

(高山市)

副市長 西倉 良介

(新火葬場建設検討委員会事務局)

事務局長・高山市市民保健部長 矢嶋 弘治 市民課長 田中 一美
市民課担当監 池之俣 浩一 市民課係長 大川 誠
市民課職員 北野 千恵 市民課職員 義基 現徳

(傍聴者) 12 名

1. 副市長あいさつ

副市長： 委員の皆様には就任にご承諾をいただき、心からお礼を申し上げます。突然のお願いであり、これまでの経緯についてご心配された方もみえると思います。そうした中で、皆様の意見を聞く場としてこの委員会を設けさせていただき、委員を引き受けていただきました。

この検討委員会が立ち上がった経緯をお話しさせていただきます。高山市の西洞町にある火葬場が昭和 28 年の建設とのことで、かなり老朽化していますし、控室もなく、使い勝手の悪い火葬場ということで、ご迷惑をおかけしています。そうした状況で、市長・國島が、当選以来、早々にこの問題に取り組みたいということで、平成 23 年度から検討を進めさせていただいています。

市の当初の考え方としまして、まず候補地を選考させていただき、その選考させていただいた候補地で、具体的にどういった内容で、どういった規模で火葬場を建設すると

よいのかということ、有識者の皆様、市民の皆様のお話を聞きながら、具体的にまとめていきたいと考えていました。こういう状況において、平成26年にスカイパーク西側を最終候補地としたものです。

ただ、地域の皆様のお話をお聞きすると、いろいろと心配されるお声を聞いたり、具体的な進入路はどこから持っていくのか、建物がどれほどの規模でどういったものを想定したらよいのか、そういったことがわからないと賛同もしにくいというご意見をいただきましたので、そうしたお声にお応えできるよう、設計を検討させていただきました。その検討に時間をかけましたものですから、ご迷惑、ご心配をお掛けしてしまいましたが、ようやく平成27年12月に結果をまとめ、議会に報告し、本年1月から2月に地域の皆様にご報告をさせていただきました。

その検討結果ですが、スカイパーク西側で想定していました敷地面積、5,000平方メートルでは、十分な施設面積は確保できないということでもございました。さらには、進入路をどういうルートで、どういった流れで設置するかということを検討したところ、整備内容によって候補地の評価結果が異なるという結果になりました。

そうした結果を招いたことは、最初に施設の内容を検討し、それから候補地の選考方法を検討する、その段階から有識者、市民の皆様の意見を聞きながら進める必要があるのではないかと、それまでの市の取組みの内容を検証させていただきました。その検証結果をもとに、今後の方針について議会とも議論させていただき、有識者、市民の皆様で構成する新たな組織を設置し、最終候補地を選考していきたいということ、今年の4月に決定させていただきました。

その後、5月から6月にかけては、具体的な事業の推進手順、新たな組織の内容を市議会にお諮りしながら、この検討委員会が発足することになった次第です。

こうした経緯がありますので、今後、会議の中で、市としての考え方をお話ししたり、ある程度の方向性を提示することもあります。できる限り、方向性を誘導するような立場での運営は控えさせていただきたいと思っています。それは検討委員会の皆様に投げかけ、委ねてしまうのではなく、この検討委員会での審議に合わせて、市としての役割をしっかりと果たしていく中で、よりよい火葬場の建設候補地の選考、さらには火葬場の建設に向けた取り組みを進めさせていただきたいと考えております。

本日は第1回目の会議です。本来でしたら皆様それぞれに委嘱状をお渡しさせていただくところですが、大変人数が多く、審議に時間をかけていただきたいということもございまして、誠に失礼ではございますが、お手元にお配りしております委嘱状をもちまして、委嘱行為に代えさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

第1回目の会議であり、まずはこれまでの取り組みにつきましてお話しさせていただき、協議を同じレベルからスタートしたいと思っています。これまでの市の取組みに対する意見を賜り、今後に向けてのご指導を賜ればありがたいと思っています。今後、何

回かこうした場を重ねさせていただきますし、時間がかかるかもしれませんが、お許し
いただきたい、ご理解いただきたいと思っています。よりよい火葬場の建設に向けまし
て、お力添えを賜りますようお願い申し上げまして、開催冒頭でのご挨拶とさせていた
だきます。

今日は市長が出張しておりまして、副市長以下で対応させていただきます。ご無礼を
お許しいただきたいと思っています。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 委員の委嘱及び紹介

(事務局より、委員42名のうち39名が出席し、2分の1以上の出席により、委員会が
成立することが報告された。)

3. 委員会設置条例について

(事務局より説明。)

4. 【議題1】委員長及び副委員長の選出

(委員長が決定するまで事務局長が議題の進行を行う。)

委員： 委員長は、公平性・中立性という面からいけば、有識者の皆さんにお願いしたい
と思っています。それぞれ火葬場の問題に精通した方ばかりですが、特に多治見市で委
員長を務められて、多治見市に提言をし、建設に至ったという経緯もあるようでござい
ますので、ぜひ、片山先生にお願いできたらと思います。

事務局長： 委員から、片山委員を委員長にというご発言がございましたが、その他のご
意見はございますか。

委員： 異議なし。

事務局長： ただいま異議はないとのご意見がございました。片山委員に委員長に就任し
ていただくということで、皆様、ご異議ございませんでしょうか。

委員： (拍手)

事務局長： それでは、委員長には、人間環境大学特任教授の、片山幸士様に就任してい
ただきたいと思います。

委員長： ただいま委員の方の互選により、委員長にということでございますので、重責
ではございますけれども、引き受けさせていただきますので、皆様ご協力のほど、よろ

しく申し上げます。

これまでに他の協議会の会長をやってきましたが、こんなにたくさんの委員の委員会はやったことがないので、どうしたらよいのかと戸惑っていますけれど、まずは忌憚のない意見をいただいて討議していく、そのうえでだんだんと絞り込んでいくという手順をとっていきたい。

引き続き、副委員長を選出をいたしたいと思います。私は、この高山市民ではないという形で委員長に選ばれましたが、副委員長は、ぜひ地元、それも市民の代表として選出された方の中から選出していただきたい。メンバーを見ていたら、高山市の地域コミュニティである、まちづくり協議会から4名の方が委員として出てみえるので、4人で協議していただき、1人副委員長をお願いしたい。委員の皆様、よろしいでしょうか。

委員：(拍手)

委員： 大変光栄なことだが、4人の委員で協議をさせていただいてから、候補者を決めさせていただきたい。

(協議の間、休憩。)

委員： まちづくり協議会からの委員4人で協議した結果、清見町まちづくり協議会の上坪委員をお願いしたいと思います。

委員長： 今、協議いただきまして、清見町まちづくり協議会の上坪道利委員に副委員長をお願いしたいと思います。ご異議ございませんか。

委員： (拍手)

委員長： それでは異議なしということで、副委員長を上坪委員をお願いしたいと思います。

副委員長： 何の見識もなく、名前だけで申し訳ないと思います。火葬場は、人間、いずれお世話になればならない所でございます。そういったことも考え、一生懸命務めさせていただきたい。皆様のご指導、ご協力をお願いします。

5. これまでの経過説明 I

(事務局より、資料3の2ページまで説明。委員長より委員に質問を募った。)

委員： 28カ所から11カ所に絞ったことは、市の市民課が決めたことです。スカイパークを1位にした、その理由も市民課が作った比較項目であって、1位になるような比較項目を作ってスカイパークを1位にしたから、ここ何年も揉めたわけです。そういったことは正直に反省していただきたい。26年9月に市議会があると聞いたものですから、8月の1か月間に2万1000もの反対署名を集めて、市にも市議会にも提出しま

した。これまでそういったものは全部無視されてきました。それでもまだ市長の考えは変わらないものですから、予算がどれほどかかるかを説明しまして、大変にかかるという事で白紙撤回をし、それでこういった委員会の議論に入ってきたわけです。

委員長： 今の経過説明について質問ということで、その時の経緯を議論をするべきではないと思います。決して意見を遮る気はありませんけれども、流れを作っておきたいと思います。

(事務局より、資料3の3ページから7ページまで説明。)

委員長： なぜ、新火葬場が必要になったのか。今後の高山市の動向のうえで、火葬炉はいくつ必要となるのか。火葬場だけを作るのか、併設して葬儀場も作るのか。初めて聞く者としては、大きなコンセプトがわからない。どういうコンセプトで新しいものを作ろうとしたのか、どれほどの規模となると考えていたのか。それがわからないまま、委員会に投げられても、またわからないということになる。

副市長： もともと高山市の火葬場は西洞の火葬場だけでしたが、現在、西洞と久々野と荘川の3つがあります。それ以外に、飛騨市に光明苑と松ヶ丘公園斎場という2つがございます。そういう状況の中、どれだけのものを今後維持管理していくのかという考え方として、市としては、まず、西洞のものを改修する計画を立てたいと思っていました。敷地面積は、他の事例などを参考として、5,000平方メートルと設定して、条件に合うような場所の選考を進めていました。まず、西洞について改修したいということ、その他に市内にある2つ、飛騨市に委託している2つについて現状どおり維持しながら進めさせていただきたいと思っています。

委員： 上岡本で当時町内会長をしておりまして、その時に要望書を市に出したのです。その要望書は委員長が今言われたような質問をしたものでした。そういう要望書を出したにも関わらず、市からは2年間ほど何も返事がなかった。それから、敷地面積は5,000平方メートルということでしたが、それも大間違いで、最初の説明では3,000平方メートル、公園の3分の1程度だという説明でした。この2点について、市民の一人として、市の説明にいろいろと問題があったような気もいたします。それだけは委員の皆様もご理解くださるよう、お願いします。

委員： 資料3の3ページを見ていただきたい。上岡本町7丁目の地区には何も印がしてないですが、実際はスカイパーク公園は防災地区なのです。2年前には土砂崩れがありまして、高山高校にも行けないような状態になりました。さらに、12年前には北側全部が崩れました。完全な防災地区なのにマルがしてない。それから、スカイパークまでの道を作り直そうとしますと、すぐ下に洪草団地があります。そういったこともここには印がありません。それから、予算の件ですが、資料3の6ページ、公園の上の部分は市が1億5000万円で買いましたが、道を作り直そうとしますと、山の角度が45度ぐらいある。その土地を買うのに、この前会議のときに私が質問したら、坪2万円で、5,000坪ほど買うという話で、その予算は入っていません。12月の市議会

に傍聴に行きましたが、20数億円かかると、そういったことが全部隠してある。そういったところを正直にこういったところを書いてほしい。間違いは間違いで市も認めてほしいと思います。それで白紙撤回になって市長が謝った、だからこういう会議ができたのです。スカイパーク公園は白紙撤回すると謝った、みんなの前で。それなのにまだスカイパーク公園を持ち上げてくるというのはおかしいと思うのです。

委員長： あくまで経過説明を聞いておりましたので、ここで候補地に持ち上げられたとか、そういうことではないのではないかと思います。今までの経過の説明に対する補足というふうに捉えさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員長より、会議を継続するか休憩するかを問われ、委員より休憩をとる意見が上がる)

(休憩)

6. これまでの経過説明Ⅱ

事務局： 今ほど委員の方から質問がありましたが、まず第一に過去の経過を今日は説明させていただいて、次にこのことを検証していただくということになりますので、その都度、細かく振り返るということもしていきますので、お願いいたします。

(事務局より、資料3-2から資料3-4まで説明。)

事務局： 説明させていただく中で、スカイパークについての検証をお話ししましたが、スカイパークにしたいということではなくて、全く白紙ということになっております。候補地から除外するという事はしていませんが、取り間違えのないよう、お願いします。

7. 【議題2】県内他施設の視察について

委員長： 経過については市側から話のあったとおりです。そして、この委員会が、付託されることがどういうことかということもお話しされたので、次回からは委員の方のいろいろな考え方をざっくばらんにお聞きしたいと思っています。

それに先立ちまして、岐阜県内にあります、火葬場並びに葬儀場を付設しているところもありますので、9月の議論を始める前に見学会を催したいと思っております。私と豊田委員が関係したんですけれども、多治見市の施設がこの3月にオープンしております。人口の規模も割合に似ている、多治見が10万をちょっと超えているぐらいですけど、そういうことも鑑みて、そして最新の施設であることを踏まえて、見学会を催したい。火葬場のことですので、友引の日でしたら比較的停止しているのではと思いますので、8月22日が友引でございます。その時に見学会をすることとして、多治見市だ

けでなくて、もう一つぐらいせっかくですので見学したい。そこにリストが上がっております。そこから選ばせていただきますが、時間のこともございますので、副委員長と私にご一任いただけないでしょうか。2カ所ぐらい、その日に回りたいと思います。よろしいでしょうか。

委員： 異議なし。

委員長： 8月22日に視察を行い、9月にそれをベースにしてフリートーキングを委員の中でやりたいと思います。

副市長： 今日の会議は、これまでの経過を共有していただいて、まず土台作りをしていただきたいということで、少し経過の話が長くなってしまって申し訳ありませんでした。

まず場所を決めるというやり方を見直して、スカイパークを最終候補地としたことも白紙撤回させていただきます。この検討委員会は、議会、市民の皆様と関連しながら、ワンステップずつ共有しながら、次のステップへ向かっていきたいと思っています。まず、視察をしていただいた後に、基本構想的な内容、現在の実態、さらに、今後共有されるような構想的部分のお話をさせていただくことにつなげていただけたらありがたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

副委員長： ゼロからのスタートということで、今までの経過を理解したうえで、施設の見学をしながら、いろんな意見を出し合いながら、組み立てていくということでございます。

委員長： 1回目としては長い会議となりましたがありがとうございました。ぜひ、8月22日には多くの方がご参加いただくことを願っております。副委員長と視察地を決め、後日、市のほうからご連絡申し上げますので、よろしく願いします。本日はこれで散会とします。どうもありがとうございました。

(以降、事務局より事務連絡。)